

HSBC インドネシア債券 オープン(毎月決算型)

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2010年8月26日～2025年8月7日	
運用方針	HSBC インドネシア債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主にインドネシア共和国（「インドネシア」）の債券等に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要運用対象	HSBC インドネシア債券オープン(毎月決算型)	HSBC インドネシア債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	HSBC インドネシア債券マザーファンド	主に、インドネシアの政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券に投資します。
組入制限	HSBC インドネシア債券オープン(毎月決算型)	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	HSBC インドネシア債券マザーファンド	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への投資は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資には制限を設けません。
分配方針	年12回の決算時（毎月7日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

運用報告書（全体版）

第91期	（決算日	2018年3月7日）
第92期	（決算日	2018年4月9日）
第93期	（決算日	2018年5月7日）
第94期	（決算日	2018年6月7日）
第95期	（決算日	2018年7月9日）
第96期	（決算日	2018年8月7日）

◎受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC インドネシア債券オープン(毎月決算型)」は、2018年8月7日に第96期の決算を行いましたので、第91期～第96期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

HSBC 投信株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング
 ≪お問い合わせ先（クライアントサービス本部）≫
 電話番号：03-3548-5690
 （営業日の午前9時～午後5時）
 ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.com/jp



◎最近5作成期の運用実績

作成期	決 算 期	基 準 価 額 (分 配 落)	期 騰 落 中 率		債 券 組 入 率 比	債 券 先 物 率 比	純 資 産 額
			税 込 分 配 金	騰 落 率			
第12 作成期	第67期 (2016年 3月 7日)	円 6,467	円 100	% 2.2	% 97.4	% —	百万円 64,682
	第68期 (2016年 4月 7日)	6,237	100	△2.0	98.3	—	62,209
	第69期 (2016年 5月 9日)	6,068	65	△1.7	97.8	—	60,290
	第70期 (2016年 6月 7日)	6,003	65	0.0	98.0	—	57,798
	第71期 (2016年 7月 7日)	5,764	65	△2.9	97.9	—	54,592
	第72期 (2016年 8月 8日)	5,956	65	4.5	97.4	—	55,241
第13 作成期	第73期 (2016年 9月 7日)	5,915	65	0.4	97.7	—	53,813
	第74期 (2016年10月 7日)	5,991	65	2.4	98.6	—	51,745
	第75期 (2016年11月 7日)	5,814	65	△1.9	98.1	—	49,815
	第76期 (2016年12月 7日)	5,964	65	3.7	98.2	—	50,568
	第77期 (2017年 1月10日)	6,052	65	2.6	97.8	—	49,599
	第78期 (2017年 2月 7日)	5,863	35	△2.5	97.7	—	46,712
第14 作成期	第79期 (2017年 3月 7日)	6,036	35	3.5	97.4	—	46,270
	第80期 (2017年 4月 7日)	6,038	35	0.6	97.7	—	45,321
	第81期 (2017年 5月 8日)	6,095	35	1.5	97.7	—	45,358
	第82期 (2017年 6月 7日)	5,980	30	△1.4	98.2	—	44,022
	第83期 (2017年 7月 7日)	6,117	30	2.8	98.1	—	44,580
	第84期 (2017年 8月 7日)	5,973	30	△1.9	97.7	—	43,551
第15 作成期	第85期 (2017年 9月 7日)	6,029	30	1.4	97.7	—	43,957
	第86期 (2017年10月10日)	6,079	30	1.3	98.6	—	42,845
	第87期 (2017年11月 7日)	6,093	30	0.7	97.7	—	42,870
	第88期 (2017年12月 7日)	6,070	30	0.1	97.3	—	42,618
	第89期 (2018年 1月 9日)	6,368	30	5.4	97.6	—	43,731
	第90期 (2018年 2月 7日)	5,966	30	△5.8	98.0	—	39,802
第16 作成期	第91期 (2018年 3月 7日)	5,546	25	△6.6	97.7	—	36,512
	第92期 (2018年 4月 9日)	5,661	25	2.5	97.8	—	36,895
	第93期 (2018年 5月 7日)	5,532	25	△1.8	98.1	—	35,662
	第94期 (2018年 6月 7日)	5,536	25	0.5	92.4	—	35,077
	第95期 (2018年 7月 9日)	5,169	25	△6.2	98.1	—	32,321
	第96期 (2018年 8月 7日)	5,152	25	0.2	97.8	—	31,774

(注) 基準価額の期中騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

◎当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債券組入率 比	債券先物率 比
		円	騰 落 率 %		
第91期	(期首)2018年2月7日	5,966	—	98.0	—
	2月末	5,760	△3.5	97.4	—
	(期末)2018年3月7日	5,571	△6.6	97.7	—
第92期	(期首)2018年3月7日	5,546	—	97.7	—
	3月末	5,655	2.0	97.5	—
	(期末)2018年4月9日	5,686	2.5	97.8	—
第93期	(期首)2018年4月9日	5,661	—	97.8	—
	4月末	5,599	△1.1	97.7	—
	(期末)2018年5月7日	5,557	△1.8	98.1	—
第94期	(期首)2018年5月7日	5,532	—	98.1	—
	5月末	5,408	△2.2	92.0	—
	(期末)2018年6月7日	5,561	0.5	92.4	—
第95期	(期首)2018年6月7日	5,536	—	92.4	—
	6月末	5,123	△7.5	97.4	—
	(期末)2018年7月9日	5,194	△6.2	98.1	—
第96期	(期首)2018年7月9日	5,169	—	98.1	—
	7月末	5,176	0.1	97.5	—
	(期末)2018年8月7日	5,177	0.2	97.8	—

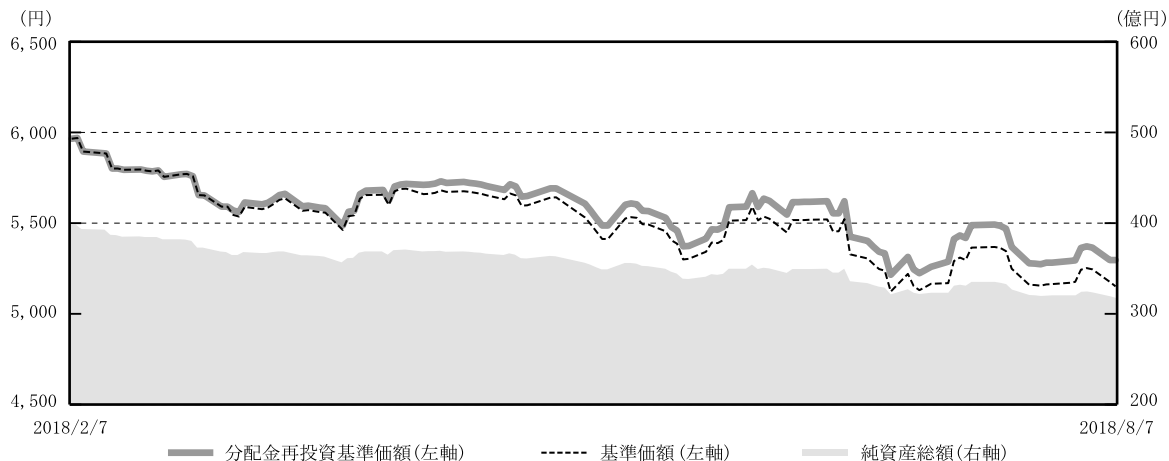
(注) 期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

◎ 当作成期の運用状況と今後の運用方針

1. 基準価額等の推移について（第91期～第96期：2018年2月8日～2018年8月7日）



【基準価額・騰落率】

第91期首： 5,966円

第96期末： 5,152円（既払分配金（税込み）：150円）

騰落率： -11.2%（分配金再投資ベース）

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するか否かについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、それぞれのお客様の損益の状況を示すものではありません。
- * 分配金再投資基準価額は、作成期首（2018年2月7日）の値を基準価額と同一になるよう指数化しております。

2. 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

組入銘柄の利子収入がプラスに寄与しました。

<下落要因>

組入銘柄の価格下落（利回り上昇）、インドネシアルピアが対円で下落したことがマイナスに寄与しました。

3. 投資環境について

【債券市況】

当作成期のインドネシア債券市場では、幅広い年限の国債利回りが全般的に上昇（価格は下落）しました。米国金利の上昇と米ドル高、新興国からの資金流出懸念などが相場の重しとなりました。また、インドネシア銀行（中央銀行）は、ルピア相場の安定に向けて、5月から6月にかけて政策金利を引き上げました。

【為替相場】

インドネシアルピアは、作成期初から3月下旬までは円高の流れを受けて、対円で下落しました。その後は5月まで値を戻したものの、6月以降は新興国全般に対する投資センチメントが悪化する中で、インドネシアルピアも対円で弱含む展開となりました。当作成期を通じて見ると、対円で前作成期末を下回りました。

4. ポートフォリオについて

<HSBC インドネシア債券オープン（毎月決算型）>

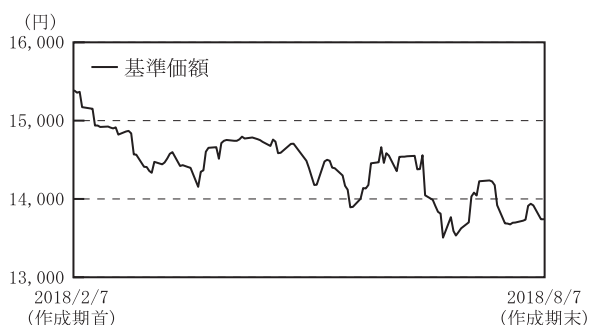
「HSBC インドネシア債券マザーファンド」への投資を通じて、主にインドネシア政府が発行する現地通貨建債券に投資しました。

<HSBC インドネシア債券マザーファンド>

引き続き中・長期国債を中心に投資しました。債券の組入比率は、残存期間1年以上～10年未満の債券が44～54%、10年以上の債券は45～50%でした。

なお、当作成期を通じて、組入債券のデュレーションは6.0～6.5年でした。

基準価額（マザーファンド）の推移



5. ベンチマークとの差異について

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

6. 分配金について

第91期から第96期における分配金は、基準価額の水準・市況動向等を勘案し、いずれも25円（1万口当たり・税引前）とさせていただきます。

なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

7. 今後の運用方針

利上げを通じた中央銀行によるルピア相場の安定に向けた毅然たる態度は、インドネシアルピアにとり好材料と言える一方、利上げは、債券市場ひいてはインドネシア経済にマイナスに働くこともあり得ます。こうした中、中央銀行は、引き続き国内景気に配慮しながら金融政策を実施していくと考えられます。

インドネシアのマクロ経済環境は全般的に良好であり、インドネシア債券市場を取り巻く投資環境は引き続き概ね良好と考えます。

<HSBC インドネシア債券オープン（毎月決算型）>

「HSBC インドネシア債券マザーファンド」への投資を通じて、主にインドネシアの政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。

<HSBC インドネシア債券マザーファンド>

インドネシア債券市場を取り巻く投資環境は総じて良好と考えます。組入債券の平均残存期間をやや長めに維持していく方針です。

◎1万口当たりの費用明細

項目	作成期間(第91期～第96期)		項目の概要
	2018/2/8～2018/8/7		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 45 (23) (20) (1)	% 0.830 (0.428) (0.375) (0.027)	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用等の対価（運用委託先への報酬が含まれます。） 分配金・換金代金の支払い、運用報告書等の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	5 (2) (0) (3)	0.091 (0.041) (0.003) (0.047)	(b) その他費用＝作成期中のその他費用／作成期中の平均受益権口数 海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用 監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 振替制度にかかる費用、印刷業者に支払う法定書類にかかる費用等
合計	50	0.921	
作成期中の平均基準価額は、5,453円です。			

(注) 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加設定・一部解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、「(b)その他費用」は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 「投信会社」は、以下、「委託者」、「委託会社」という場合があります。

(注) 「(b)その他費用」の「(その他)」には、債券売却時に支払った外国税（1万口当たり2円）が含まれます。

◎親投資信託受益証券の設定、解約状況（2018年2月8日から2018年8月7日まで）

決 算 期	第 91 期 ～ 第 96 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
HSBC インドネシア債券マザーファンド	千口 1,084,904	千円 1,562,367	千口 3,905,558	千円 5,633,567

(注) 単位未満は切捨て。

◎利害関係人との取引状況（2018年2月8日から2018年8月7日まで）

親投資信託における当作成期中の利害関係人との取引状況

区 分	第 91 期 ～ 第 96 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 12,274	百万円 —	% —	百万円 16,295	百万円 618	% 3.8

平均保有割合100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子ファンドの親投資信託所有口数の割合です。

（注）単位未満は切捨て。

*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、ザ・ホンコン・アンド・シヤンハイ・バンキング・コーポレイション・リミテッド（東京）です。

◎組入資産の明細

親投資信託残高

2018年8月7日現在

種 類	第15作成期末	第 16 作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
HSBC インドネシア債券マザーファンド	千口 26,088,985	千口 23,268,331	千円 31,975,340

（注）単位未満は切捨て。

◎投資信託財産の構成

2018年8月7日現在

項 目	第 16 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
HSBC インドネシア債券マザーファンド	千円 31,975,340	% 99.7
コール・ローン等、その他	111,808	0.3
投資信託財産総額	32,087,148	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

（注）HSBC インドネシア債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（31,831,529千円）の投資信託財産総額（32,086,069千円）に対する比率は99.2%です。

（注）外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=111.32円、100インドネシアルピア=0.77円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

	(2018年3月7日)	(2018年4月9日)	(2018年5月7日)	(2018年6月7日)	(2018年7月9日)	(2018年8月7日)
項 目	第 91 期 末	第 92 期 末	第 93 期 末	第 94 期 末	第 95 期 末	第 96 期 末
(A) 資 産	36,852,418,859円	37,208,926,940円	35,952,293,595円	35,386,352,138円	32,638,148,036円	32,087,148,405円
H S B C インドネシア債券 マザーファンド(評価額)	36,726,926,296	37,114,997,785	35,872,434,250	35,288,940,681	32,531,432,134	31,975,340,589
未 収 入 金	125,492,563	93,929,155	79,859,345	97,411,457	106,715,902	111,807,816
(B) 負 債	340,128,976	313,922,393	290,255,327	308,390,737	316,311,652	312,501,582
未 払 収 益 分 配 金	164,576,948	162,921,151	161,168,654	158,406,827	156,333,380	154,172,297
未 払 解 約 金	125,492,563	93,929,155	79,859,345	97,411,457	106,715,902	111,807,816
未 払 信 託 報 酬	49,322,874	55,506,558	46,960,486	49,565,399	49,515,844	43,412,785
そ の 他 未 払 費 用	736,591	1,565,529	2,266,842	3,007,054	3,746,526	3,108,684
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	36,512,289,883	36,895,004,547	35,662,038,268	35,077,961,401	32,321,836,384	31,774,646,823
元 本	65,830,779,382	65,168,460,430	64,467,461,981	63,362,730,868	62,533,352,398	61,668,918,860
次 期 繰 越 損 益 金	△29,318,489,499	△28,273,455,883	△28,805,423,713	△28,284,769,467	△30,211,516,014	△29,894,272,037
(D) 受 益 権 総 口 数	65,830,779,382口	65,168,460,430口	64,467,461,981口	63,362,730,868口	62,533,352,398口	61,668,918,860口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,546円	5,661円	5,532円	5,536円	5,169円	5,152円

<注記事項(当運用報告書作成時点では、監査未了です。)>

(注) 当ファンドの第91期首元本額は66,714,569,236円、第91～96期中追加設定元本額は2,825,967,126円、第91～96期中一部解約元本額は7,871,617,502円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

◎損益の状況

	自2018年2月8日 至2018年3月7日	自2018年3月8日 至2018年4月9日	自2018年4月10日 至2018年5月7日	自2018年5月8日 至2018年6月7日	自2018年6月8日 至2018年7月9日	自2018年7月10日 至2018年8月7日
項 目	第 91 期	第 92 期	第 93 期	第 94 期	第 95 期	第 96 期
(A) 有価証券売買損益	△ 2,544,550,306円	964,651,825円	△ 628,637,524円	237,410,942円	△ 2,087,854,362円	92,791,806円
売 買 益	25,617,666	978,719,901	1,264,916	285,438,384	20,507,059	112,752,831
売 買 損	△ 2,570,167,972	△ 14,068,076	△ 629,902,440	△ 48,027,442	△ 2,108,361,421	△ 19,961,025
(B) 信託報酬等	△ 50,059,465	△ 56,335,496	△ 47,661,799	△ 50,305,611	△ 50,255,316	△ 42,774,943
(C) 当期損益金(A+B)	△ 2,594,609,771	908,316,329	△ 676,299,323	187,105,331	△ 2,138,109,678	50,016,863
(D) 前期繰越損益金	△ 3,213,243,329	△ 5,858,163,594	△ 5,038,751,918	△ 5,719,427,404	△ 5,577,601,251	△ 7,701,616,489
(E) 追加信託差損益金	△ 23,346,059,451	△ 23,160,687,467	△ 22,929,203,818	△ 22,594,040,567	△ 22,339,471,705	△ 22,088,500,114
(配当等相当額)	(1,833,424,648)	(1,826,440,717)	(1,812,091,962)	(1,791,939,502)	(1,776,832,883)	(1,761,183,053)
(売買損益相当額)	(△25,179,484,099)	(△24,987,128,184)	(△24,741,295,780)	(△24,385,980,069)	(△24,116,304,588)	(△23,849,683,167)
(F) 計 (C+D+E)	△ 29,153,912,551	△ 28,110,534,732	△ 28,644,255,059	△ 28,126,362,640	△ 30,055,182,634	△ 29,740,099,740
(G) 収益分配金	△ 164,576,948	△ 162,921,151	△ 161,168,654	△ 158,406,827	△ 156,333,380	△ 154,172,297
次期繰越損益金(F+G)	△ 29,318,489,499	△ 28,273,455,883	△ 28,805,423,713	△ 28,284,769,467	△ 30,211,516,014	△ 29,894,272,037
追加信託差損益金	△ 23,346,059,451	△ 23,160,687,467	△ 22,929,203,818	△ 22,594,040,567	△ 22,339,471,705	△ 22,088,500,114
(配当等相当額)	(1,834,372,729)	(1,827,582,149)	(1,812,457,590)	(1,793,089,945)	(1,777,581,551)	(1,762,114,375)
(売買損益相当額)	(△25,180,432,180)	(△24,988,269,616)	(△24,741,661,408)	(△24,387,130,512)	(△24,117,053,256)	(△23,850,614,489)
分配準備積立金	1,194,475,926	1,213,171,463	1,157,066,818	1,116,655,806	1,070,396,113	1,017,571,619
繰越損益金	△ 7,166,905,974	△ 6,325,939,879	△ 7,033,286,713	△ 6,807,384,706	△ 8,942,440,422	△ 8,823,343,542

(注) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額をいいます。

(注) 第91期計算期間末における費用控除後の配当等収益(126,466,611円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,834,372,729円)および分配準備積立金(1,232,586,263円)より分配対象収益は3,193,425,603円(10,000口当たり485円)であり、うち164,576,948円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。

(注) 第92期計算期間末における費用控除後の配当等収益(202,555,193円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,827,582,149円)および分配準備積立金(1,173,537,421円)より分配対象収益は3,203,674,763円(10,000口当たり491円)であり、うち162,921,151円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。

(注) 第93期計算期間末における費用控除後の配当等収益(120,819,137円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,812,457,590円)および分配準備積立金(1,197,416,335円)より分配対象収益は3,130,693,062円(10,000口当たり485円)であり、うち161,168,654円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。

(注) 第94期計算期間末における費用控除後の配当等収益(145,732,348円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,793,089,945円)および分配準備積立金(1,129,330,285円)より分配対象収益は3,068,152,578円(10,000口当たり484円)であり、うち158,406,827円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。

(注) 第95期計算期間末における費用控除後の配当等収益(129,999,326円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,777,581,551円)および分配準備積立金(1,096,730,167円)より分配対象収益は3,004,311,044円(10,000口当たり480円)であり、うち156,333,380円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。

(注) 第96期計算期間末における費用控除後の配当等収益(122,786,923円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,762,114,375円)および分配準備積立金(1,048,956,993円)より分配対象収益は2,933,858,291円(10,000口当たり475円)であり、うち154,172,297円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。

(注) 親投資信託の投資信託財産の運用指図に係る権限を委託するために要する費用として、委託者報酬の中から支弁した額は、43,949,268円です。

◎分配金のお知らせ

	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
1万口当たり分配金（税込み）	25円	25円	25円	25円	25円	25円

- ◇分配金をお支払いする場合：原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始いたします。
- ◇分配金を再投資する場合：決算日現在の基準価額に基づいて、税金を差し引いた後、皆さまの口座に繰り入れて再投資いたします。
- ◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
 - 普通分配金 … 分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。
 - 元本払戻金 … 分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの部分は普通分配となります。元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

◎分配原資の内訳

（単位：1万口当たり・税引前）

	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
当期分配金	25円	25円	25円	25円	25円	25円
（対基準価額比率）	0.449%	0.440%	0.450%	0.450%	0.481%	0.483%
当期の収益	19円	25円	18円	23円	20円	19円
当期の収益以外	6円	—	6円	2円	4円	5円
翌期繰越分配対象額	460円	466円	460円	459円	455円	450円

- ◇「（対基準価額比率）」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率です。この値はファンドの収益率を表すものではない点にご留意ください。
- ◇「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに住民税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※税金の取扱いの詳細については、税務の専門家等にご確認されることをお勧めします。

◆親投資信託「HSBC インドネシア債券マザーファンド」の運用状況
第8期（2017年8月8日～2018年8月7日）

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主にインドネシアの債券等に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要運用対象	主に、インドネシアの政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券に投資します。
組入制限	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資には制限を設けません。

◎最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期騰落率	債券	債券	純資産額
			組入比率	先物比率	
第4期（2014年8月7日）	円 11,971	% △ 6.1	% 95.2	% —	百万円 60,744
第5期（2015年8月7日）	13,474	12.6	94.7	—	84,603
第6期（2016年8月8日）	13,255	△ 1.6	96.2	—	55,932
第7期（2017年8月7日）	14,810	11.7	97.1	—	43,836
第8期（2018年8月7日）	13,742	△ 7.2	97.2	—	31,974

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

◎当期中の基準価額等の推移

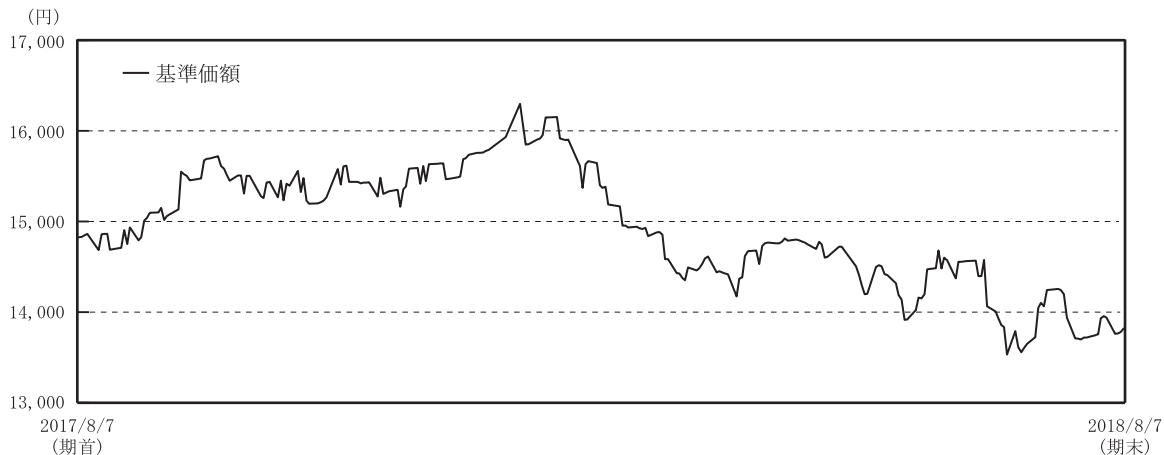
年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	円	騰 落 率		
(期 首) 2017年 8月7日	14,810	—	97.1	—
8月末	15,023	1.4	97.1	—
9月末	15,435	4.2	97.7	—
10月末	15,198	2.6	97.2	—
11月末	15,373	3.8	98.3	—
12月末	15,778	6.5	97.5	—
2018年 1月末	15,357	3.7	97.3	—
2月末	14,838	0.2	97.3	—
3月末	14,653	△1.1	97.4	—
4月末	14,590	△1.5	97.6	—
5月末	14,179	△4.3	91.9	—
6月末	13,508	△8.8	97.2	—
7月末	13,735	△7.3	97.4	—
(期 末) 2018年 8月7日	13,742	△7.2	97.2	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

◎当期の運用状況と今後の運用方針

1. 基準価額等の推移について（第8期：2017年8月8日～2018年8月7日）



2. 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

組入銘柄の利子収入がプラスに寄与しました。

<下落要因>

組入銘柄の価格下落（利回り上昇）、インドネシアルピアが対円で下落したことがマイナスに寄与しました。

3. 投資環境について

【債券市況】

当期のインドネシア債券市場は、期初から2018年1月初旬にかけて幅広い年限の国債利回りが低下（価格は上昇）しました。中央銀行による利下げ（2017年8月から9月にかけて政策金利を2回引き下げ）、大手格付会社フィッチ・レーティングスによる格上げ（2017年12月に「BBB-」から「BBB」へ）、同じくムーディーズ・インベスターズ・サービスによる格上げ（2018年4月に「Baa3」から「Baa2」へ）などがプラス要因となりました。その後、2018年2月から期末にかけては、国債利回りは全般的に上昇（価格は下落）しました。米国金利の上昇と米ドル高、新興国からの資金流出懸念などが相場の重しとなりました。また、中央銀行は、ルピア安阻止を目的に、金融政策を引き締めました（5月から6月にかけて政策金利を3回引き上げ）。

【為替相場】

インドネシアルピアは、期初から2018年1月初めまでは、円に対して一進一退の展開となりましたが、その後、3月下旬までは、円高の流れを受けて、対円で下落しました。その後、4月から5月にかけては値を戻したものの、6月以降は新興国全般に対する投資家センチメントが悪化する中で、インドネシアルピアも対円で弱含む展開となりました。当期を通じて見ると、対円で前期末を下回りました。

4. ポートフォリオについて

引き続き中・長期国債を中心に投資しました。債券の組入比率は、残存期間1年以上～10年未満の債券が44～55%、10年以上の債券は44～50%でした。

なお、組入債券のデュレーションは6.0～6.6年でした。

5. 今後の運用方針

利上げを通じた中央銀行によるルピア相場の安定に向けた毅然たる態度は、インドネシアルピアにとり好材料と言える一方、利上げは、債券市場ひいてはインドネシア経済にマイナスに働くこともあり得ます。こうした中、中央銀行は、引き続き国内景気に配慮しながら金融政策を実施していくと考えられます。

インドネシアのマクロ経済環境は全般的に良好であり、インドネシア債券市場を取り巻く投資環境は引き続き概ね良好と考えます。

インドネシア債券市場を取り巻く投資環境は総じて良好と考えます。当ファンドのマザーファンドでは、組入債券の平均残存期間をやや長めに維持していく方針です。

◎1万口当たりの費用明細（2017年8月8日から2018年8月7日まで）

項目	金額	比率
(a) その他費用	58円	0.395%
（保管費用）	(12)	(0.079)
（その他）	(47)	(0.315)
合計	58	0.395

- ・期中のマザーファンドの平均基準価額は14,805円です。
- ・各項目ごとに円未満は四捨五入しております。なお、費用項目の概要については、6ページをご参照ください。
- ・「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
- ・「(a)その他費用」の「(その他)」には、債券売却時に支払った外国税（1万口当たり47円）が含まれます。

◎当期中の売買及び取引の状況（2017年8月8日から2018年8月7日まで）

公社債

			買付額	売付額
外国	インドネシア	国債証券	千インドネシアルピア 1,390,644,495	千インドネシアルピア 2,254,066,276

(注) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

◎利害関係人との取引状況（2017年8月8日から2018年8月7日まで）

当期中の利害関係人との取引状況

区分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 32,804	百万円 —	% —	百万円 42,310	百万円 1,479	% 3.5

(注) 単位未満は切捨て。

*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、ザ・ホンコン・アンド・シヤンハイ・バンキング・コーポレイション・リミテッド（東京）です。

◎組入資産の明細（2018年8月7日現在）

外国（外貨建）公社債

(A) 債券種類別開示

区分	額面金額	当		期	末	残存期間別組入比率		
		評価額	組入比率			うちBB格 以下組入比率	5年以上	2年以上
		外貨建金額	邦貨換算金額					
インドネシア	千インドネシアルピア 3,999,866,000	千インドネシアルピア 4,034,662,432	千円 31,066,900	% 97.2	% —	% 68.1	% 24.2	% 4.9
合計	3,999,866,000	4,034,662,432	31,066,900	97.2	—	68.1	24.2	4.9

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

(注) BB格以下組入比率は、S&Pグローバル・レーティングの格付に基づいております。なお、BB格とはBB+、BB、BB-を指します。

(B) 個別銘柄開示

銘柄名	当 期 末						
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日	
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
(インドネシア)		%	千インドネシアルピア	千インドネシアルピア	千円		
INDOGB 10% 02/15/2028		10.0	91,748,000	103,972,503	800,588	2028/2/15	
INDOGB 10.25% 07/15/2022		10.25	6,700,000	7,274,391	56,012	2022/7/15	
INDOGB 10.5% 08/15/2030		10.5	147,823,000	175,398,375	1,350,567	2030/8/15	
INDOGB 11% 09/15/2025		11.0	75,000,000	87,436,500	673,261	2025/9/15	
INDOGB 12% 09/15/2026		12.0	40,406,000	50,207,687	386,599	2026/9/15	
INDOGB 12.8% 06/15/2021		12.8	12,600,000	14,362,992	110,595	2021/6/15	
INDOGB 12.9% 06/15/2022		12.9	150,220,000	175,882,082	1,354,292	2022/6/15	
INDOGB 5.625% 05/15/2023		5.625	446,420,000	411,161,748	3,165,945	2023/5/15	
INDOGB 6.125% 05/15/2028		6.125	180,000,000	160,124,400	1,232,957	2028/5/15	
INDOGB 6.625% 05/15/2033		6.625	300,000,000	262,002,000	2,017,415	2033/5/15	
INDOGB 7% 05/15/2022	国債証券	7.0	85,000,000	83,496,350	642,921	2022/5/15	
INDOGB 7% 05/15/2027		7.0	282,000,000	266,859,420	2,054,817	2027/5/15	
INDOGB 7.5% 05/15/2038		7.5	117,000,000	109,472,220	842,936	2038/5/15	
INDOGB 7.5% 08/15/2032		7.5	100,000,000	94,078,000	724,400	2032/8/15	
INDOGB 7.875% 04/15/19		7.875	200,000,000	201,912,000	1,554,722	2019/4/15	
INDOGB 8.25% 05/15/2036		8.25	90,000,000	89,780,400	691,309	2036/5/15	
INDOGB 8.25% 06/15/2032		8.25	230,399,000	232,704,211	1,791,822	2032/6/15	
INDOGB 8.25% 07/15/2021		8.25	305,000,000	312,402,350	2,405,498	2021/7/15	
INDOGB 8.375% 03/15/2024		8.375	300,000,000	308,898,000	2,378,514	2024/3/15	
INDOGB 8.375% 03/15/2034		8.375	240,000,000	242,376,000	1,866,295	2034/3/15	
INDOGB 9% 03/15/2029		9.0	476,000,000	508,472,720	3,915,239	2029/3/15	
INDOGB 9.5% 07/15/2031		9.5	123,550,000	136,388,080	1,050,188	2031/7/15	
合 計		—	—	—	—	31,066,900	—

(注) 邦貨換算金額は、当期末現在の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入力しております。

◎投資信託財産の構成

2018年8月7日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円	%
	31,066,900	96.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,019,169	3.2
投 資 信 託 財 産 総 額	32,086,069	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 期末における外貨建純資産 (31,831,529千円) の投資信託財産総額 (32,086,069千円) に対する比率は99.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=111.32円、100インドネシアルピア=0.77円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2018年8月7日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	32,170,625,980円
コール・ローン等	451,369,023
公社債(評価額)	31,066,900,726
未収入金	84,556,400
未収利息	533,749,096
前払費用	34,050,735
(B) 負 債	196,407,862
未払金	84,590,600
未払解約金	111,807,816
未払利息	732
その他未払費用	8,714
(C) 純資産総額(A-B)	31,974,218,118
元本	23,268,331,094
次期繰越損益金	8,705,887,024
(D) 受益権総口数	23,268,331,094口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,742円

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

《注記事項》

※期首元本額	29,599,559,783円
期中追加設定元本額	4,882,109,509円
期中一部解約元本額	11,213,338,198円

※当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末保有元本額
 HSBC インドネシア債券オープン(毎月決算型) 23,268,331,094円

◎損益の状況

自2017年8月8日
 至2018年8月7日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	2,337,672,268円
受取利息	2,337,858,416
支払利息	△ 186,148
(B) 有価証券売買損益	△ 4,519,539,283
売買益	320,652,259
売買損	△ 4,840,191,542
(C) 信託報酬等	△ 144,209,924
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,326,076,939
(E) 前期繰越損益金	14,237,042,538
(F) 追加信託差損益金	2,528,528,192
(G) 解約差損益金	△ 5,733,606,767
(H) 計(D+E+F+G)	8,705,887,024
次期繰越損益金(H)	8,705,887,024

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)信託報酬等の主なものは、保管費用等です。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

◆お知らせ◆

<約款変更のお知らせ> ありません。
<その他のお知らせ> ありません。